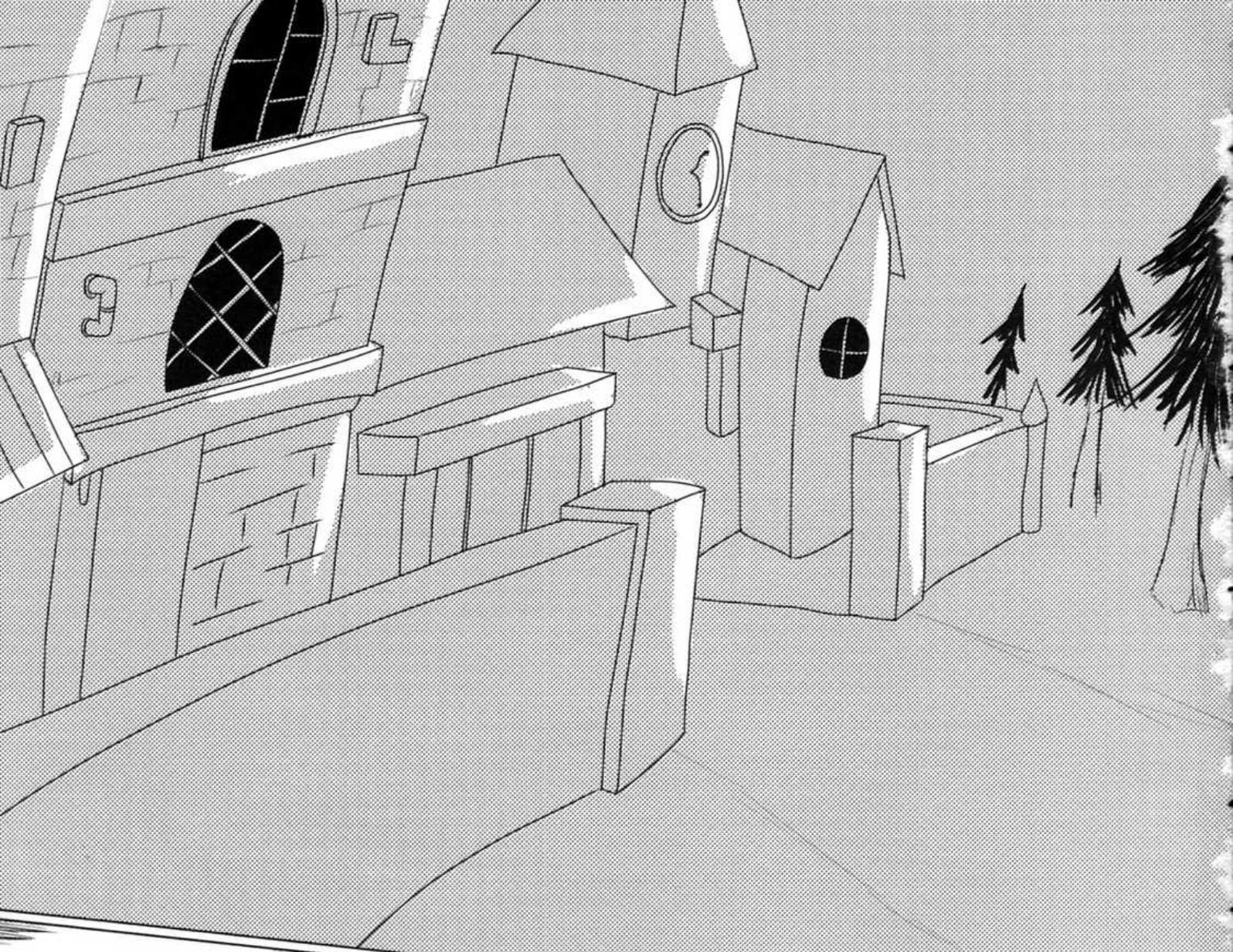


# 紅の観測



うらとか





「紅魔館定例会議」



この中で誰か一人が、  
私を裏切る



ちゅ...





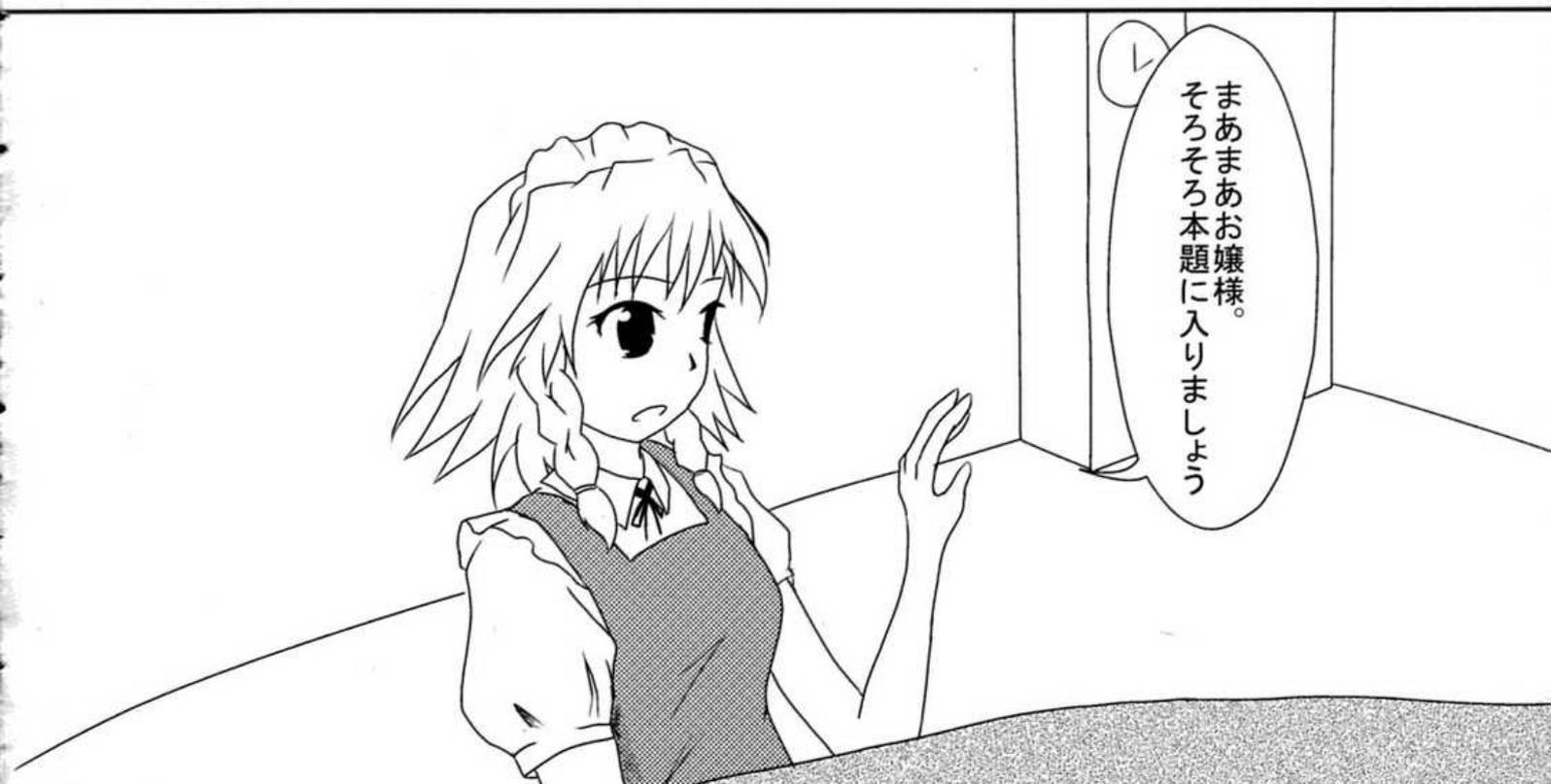
むしゃくしゃしてやったの



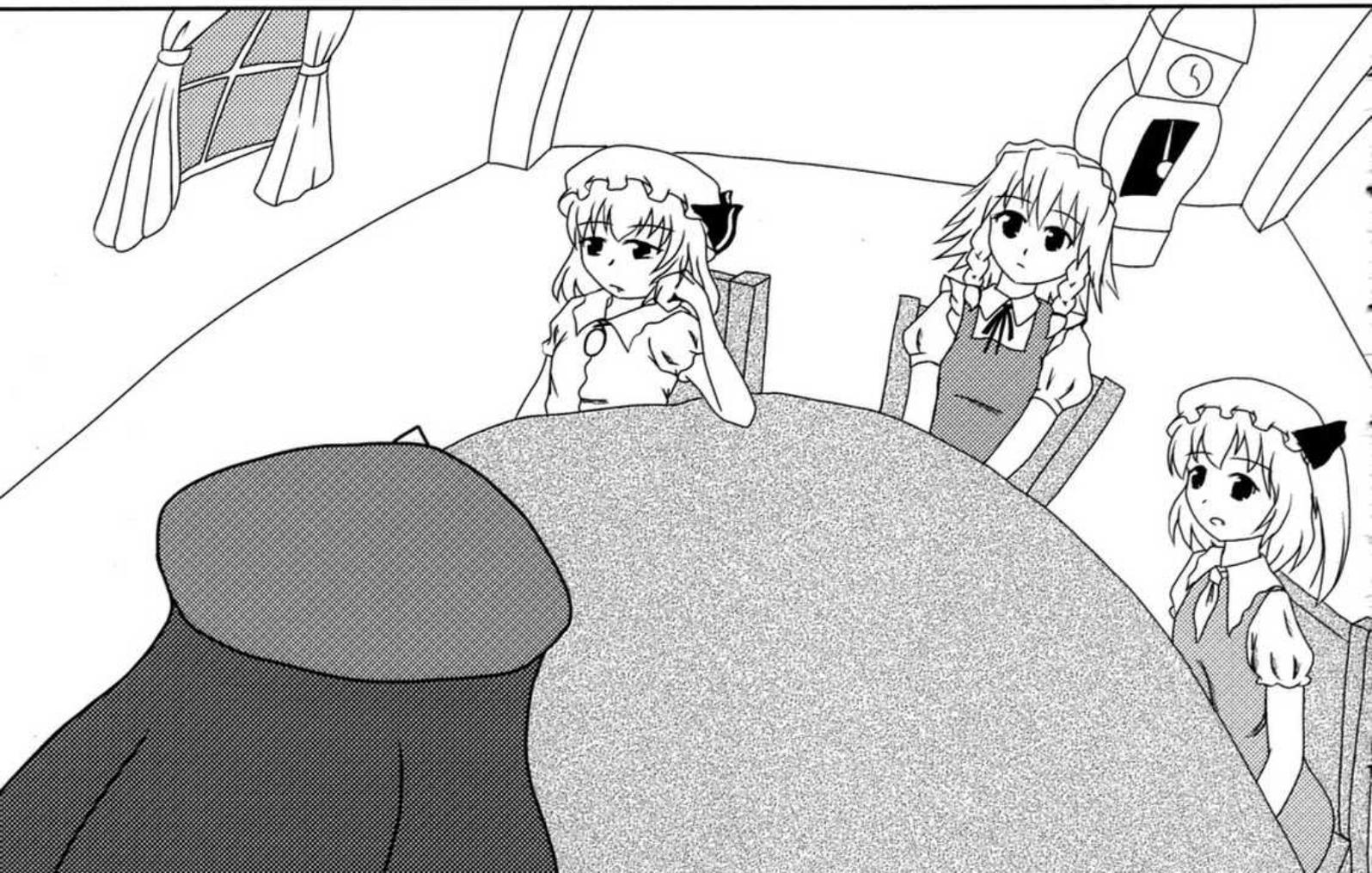
いきなり攻撃したら駄目だって  
いつもいってるでしょう。



それは理由にならないって  
いつもいってるでしょう。



まあまあお嬢様。  
そろそろ本題に入りましょう





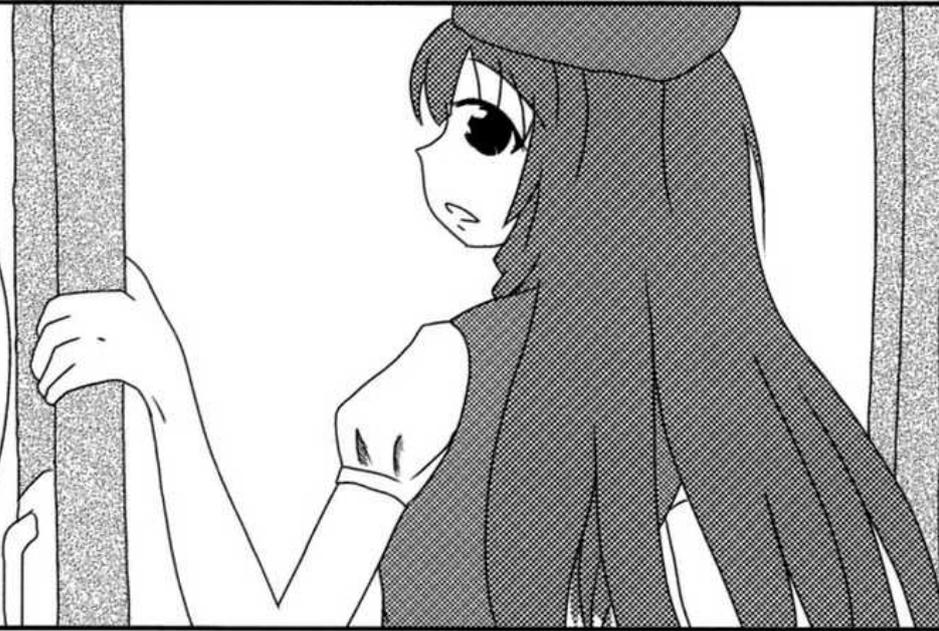
それでは途中で…



な

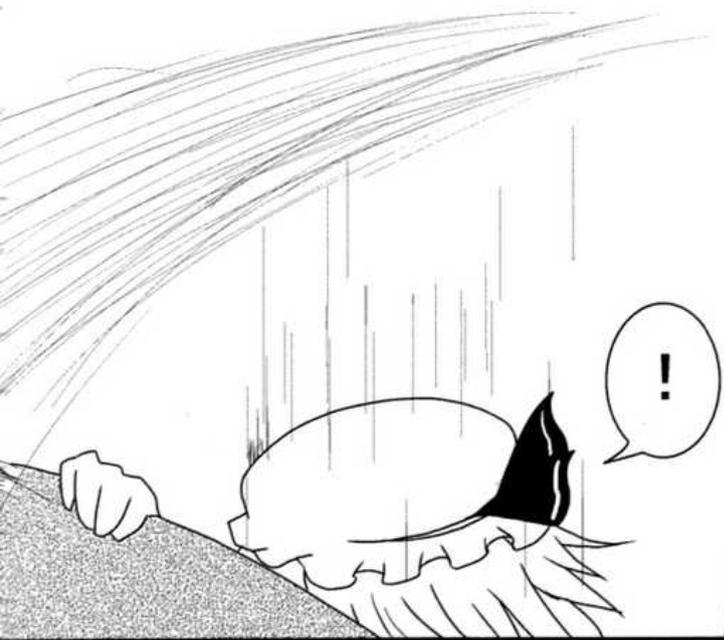


はい、気をつけてねー



いってきますー！





!



うー、この忙しいときに  
魔理沙が来たかー



それにしても美鈴も  
随分思いつめていたようね



どこも不景気だからねえ







咲夜もなにかこの機会に  
言っておきたい事はない？



パチエもいってしまったわね



いやいやいや、この流れで  
咲夜といたら、ほら

お決まりのがあるじゃない  
ちよっと胸に手を当てて考えてみ？



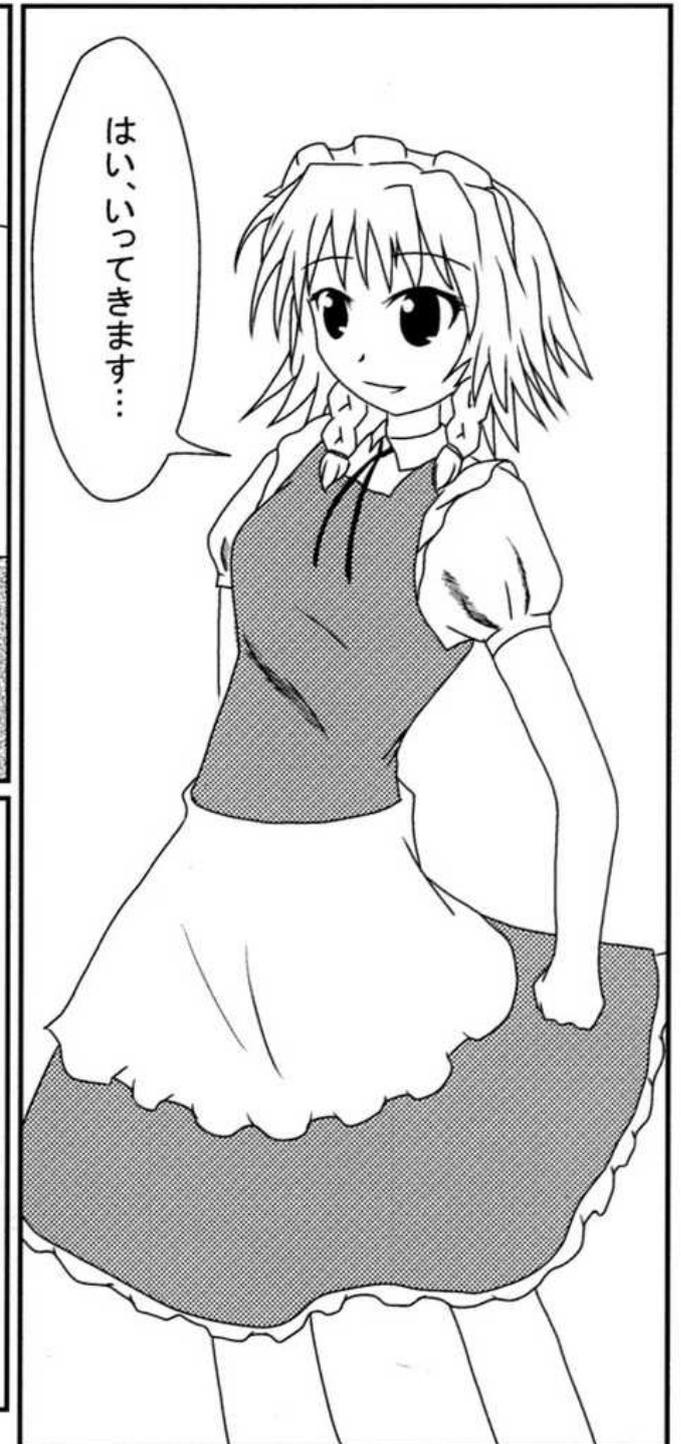
いえ、私は別に

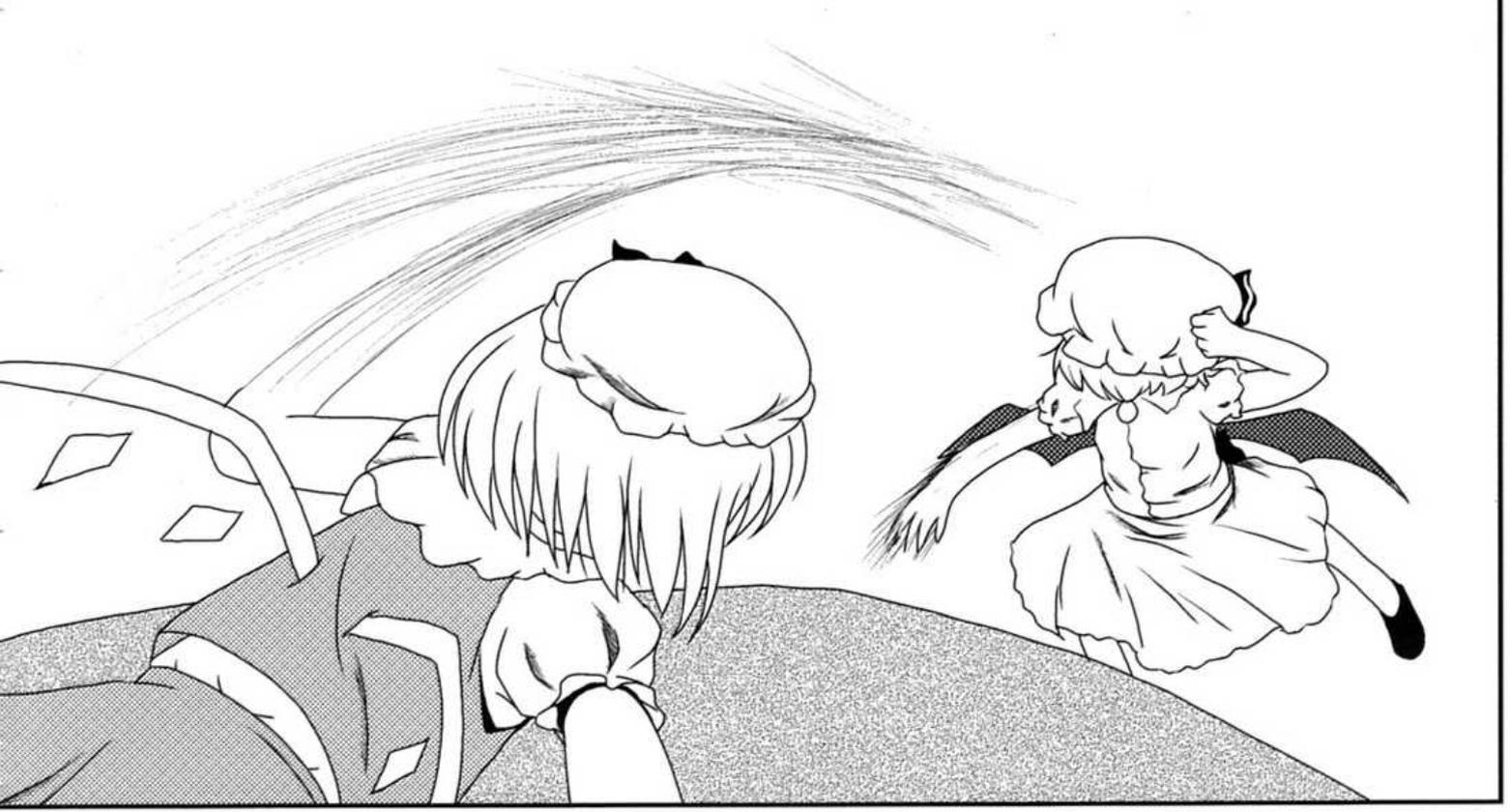


ははは、お嬢様！  
それは目に映るものに囚われ過ぎて  
おりますよ。

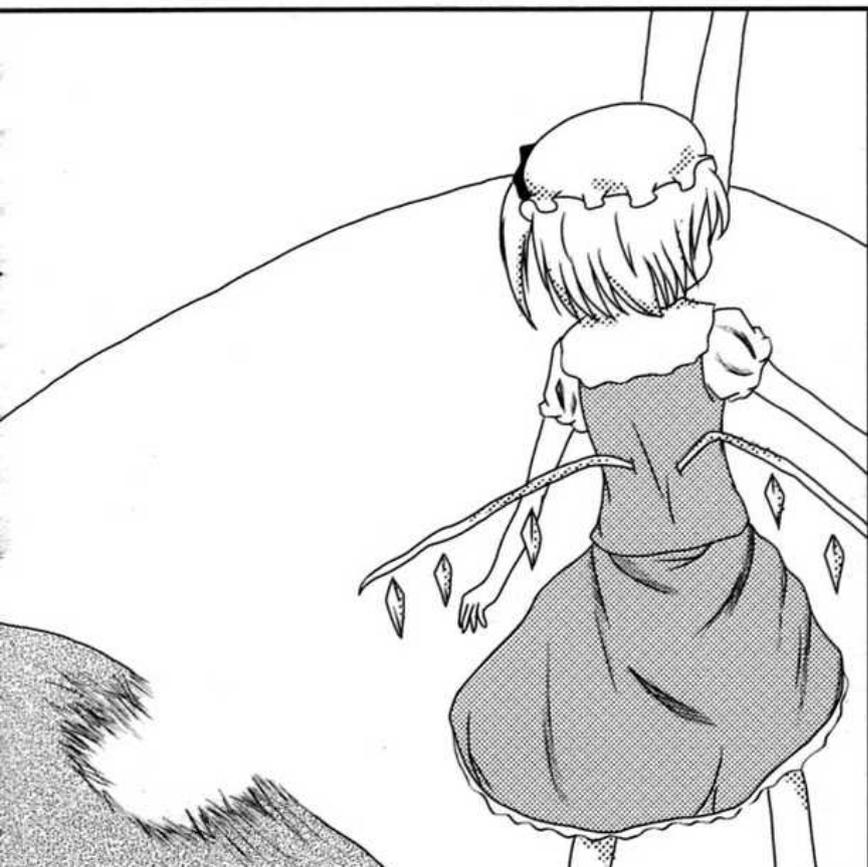
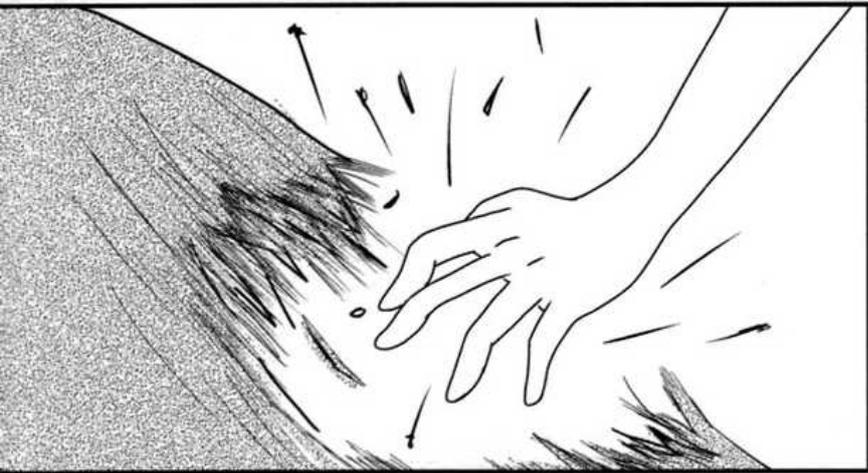
物事とは、それを知覚した瞬間に  
善は悪に、正は邪に、本物は偽物に  
なってしまうのです。



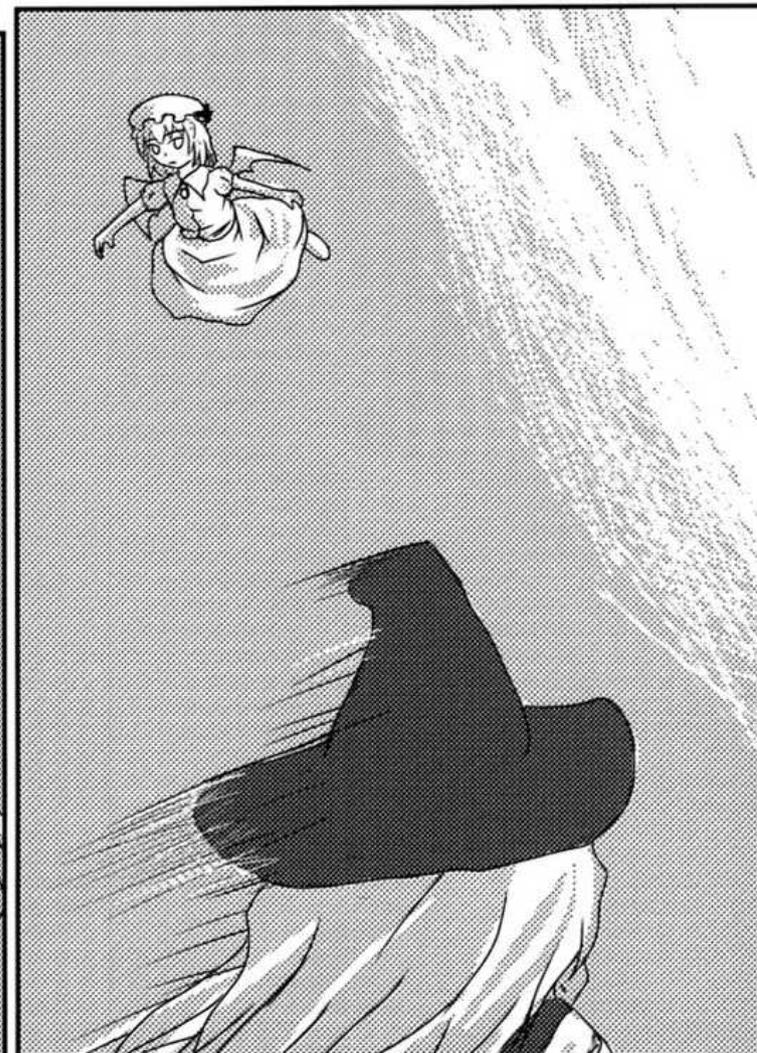
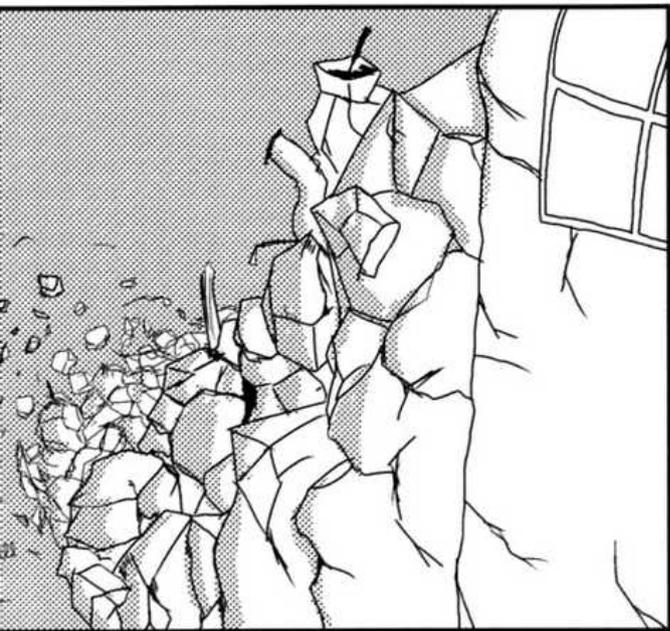












## あとがき

どうもこんにちは。サークル「うらとか」の中岡です。  
この度はどうもありがとうございました。

さて今回の漫画ですが、いわゆる「意味がわからない」、「理解できない」といった理不尽系のギャグ漫画を描いたつもりだったんです。

ところができあがってみると、なにやら「目的不明」の漫画になってしまったようです。

どんなに「意味不明」なギャグ漫画でも、人を笑わせるという目的はあるわけで。

それが無いということは…

漫画としてはアレでしたが、多くの人と東方の面白さを共有することができればうれしいです。

というわけで、次回はもっといいものを作れているはずなので、宜しくお願いします。

/中岡

うらとかのHP <http://www.maroon.dti.ne.jp/uratoka/>

奥付

原作 上海アリス幻楽団

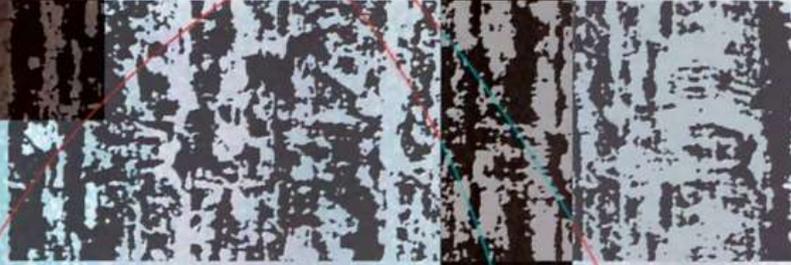
発行 うらとか

印刷 有限会社 ねこのしっぽ様

発行日 2009/02/08

著者 中岡

URL <http://www.maroon.dti.ne.jp/uratoka/>



うらとかの東方本